

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 特定非営利活動法人日本ボリビア人協会

1. 事業名称

在日外国人のための生活日本語講座

2. 事業の目的

日本で生活するうえで、必要な知識(生活習慣、各種制度等)および日本語力を身につけるための講座を開催する。とりわけ、本講座では当該地域のニーズから、日本での就労を希望している、または就業中のスペイン語圏外国人のスキルアップのための日本語および労働慣行に関する内容を含めることとする。

3. 事業内容の概要

【学習目標】

ステップ①就職活動に必要な日本語力(面接、履歴書等)と知識(ルール・マナー等)を身につける、ステップ②職場での職位向上に必要な日本語力(同僚とのコミュニケーション)と知識(労働慣行、労働法規等)を身につける

【使用教材】

『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案』をもとに、必要に応じて市販教材を参考に、オリジナル教材を作成・使用する。

【実施体制】

原則として、日本語教育の有資格者または長く教授経験のある講師を1名とスペイン語通訳を1名配置する。また、本事業で実施する研修を受講した者をサポーターとして2名以上加える。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年7月26日 18:30～20:30	2時間	アスト津	瀧本規久子 筒井美幸 土井佳彦 藤本久司 山田真由美 山田ロサリオ	①事業全体スケジュール ②ボランティア養成講座	・ボランティア養成講座、日本語教室、教材作成の時期と担当 ・ボランティア養成講座の募集方法、内容、担当
2	平成24年9月8日 18:30～20:30	2時間	アスト津	赤嶺ハビエル 筒井美幸 土井佳彦 藤本久司 山田真由美 山田ロサリオ	①日本語教室	・スケジュール(開催日時) ・担当者(講師、通訳、補助者) ・募集方法
3	平成24年10月11日 18:30～20:30	2時間	アスト津	赤嶺ハビエル ジャスティニアノ・ロナルド 筒井美幸 土井佳彦 西川美帆 山田ロサリオ	①ボランティア養成講座 ②日本語教室	・ボランティア養成講座進捗状況報告 ・日本語教室シラバス詳細
4	平成25年1月17日 18:30～20:30	2時間	アスト津	筒井美幸 土井佳彦 西川美帆 藤本久司 山田ロサリオ	1 ①日本語教室 ②教材作成 ③来年度事業	・日本語教室第1期結果報告 ・日本語教室第2期進捗報告 ・教材の概要と執筆担当 ・来年度事業の方向性

【写真】



5. 日本語教室の設置・運営

【第1期】

- (1) 講座名称 在日外国人(スペイン語圏)のための生活日本語講座1
- (2) 目的・目標 (目的)就職活動に必要な日本語力等を身に付ける
(目標)面接で簡単な受け答えができる、履歴書が書ける
- (3) 対象者 在日外国人(スペイン語圏)で、ひらがな・カタカナの読み書きができる人
- (4) 開催時間数(回数) 16 時間 (全 8 回)
- (5) 使用した教材・リソース 標準的カリキュラム案、とよた日本語学習支援システム、他
- (6) 受講者の総数 18 人
(出身・国籍別内訳 ボリビア16人、ペルー1人、チリ1人)
- (7) 受講者の募集方法
チラシ送付(三重県国際交流協会、津市国際交流協会、市内日本語教室等)、メール、
団体&個人の facebook ページ、口コミ
- (8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1-1.	平成24年11月27日 18:00~20:00	2時間	アスト津	16人	ボリビア14人 ペルー1人 チリ1人	①オリエンテーション ②レベルチェック	①趣旨説明、自己紹介 ②会話テスト、読み書きテスト	1名	西川美帆	5人	農大輔、加瀬公恵、清水理香、萩京子、松田幸子	自作教材
1-2.	平成24年11月29日 18:00~20:00	2時間	アスト津	15人	ボリビア14人 チリ1人	①会話 ②読み書き	①面接(自己紹介) ②履歴書(学歴、職歴)	1名	土井佳彦	3人	加瀬公恵、清水理香、石井りか	自作教材
1-3.	平成24年12月4日 18:00~20:00	2時間	アスト津	13人	ボリビア11人 ペルー1人 チリ1人	①会話 ②読み書き ③講義	①面接(入退室の仕方、あいさつ) ②履歴書(免許、資格) ③新しい在留管理制度	1名	西川美帆	4人	農大輔、清水理香、萩京子、平田育代	自作教材
1-4.	平成24年12月6日 18:00~20:00	2時間	アスト津	15人	ボリビア13人 ペルー1人 チリ1人	①会話 ②読み書き	①面接(志望動機) ②履歴書(志望動機)	1名	土井佳彦	3人	加瀬公恵、清水理香、石井りか	自作教材
1-5.	平成24年12月11日 18:00~20:00	2時間	アスト津	11人	ボリビア10人 ペルー1人	①会話 ②読み書き	①面接(自己PR) ②履歴書(好きな学科、スポーツ、趣味、健康状態)	1名	西川美帆	6人	農大輔、加瀬公恵、清水理香、萩京子、松田幸子、平田育	自作教材
1-6.	平成24年12月13日 18:00~20:00	2時間	アスト津	9人	ボリビア7人 ペルー1人 チリ1人	①会話 ②読み書き ③講義	①面接(自己紹介から自己PRまで) ②履歴書(通勤手段、扶養義務、配偶者の有無等) ③社会保障	1名	土井佳彦	4人	加瀬公恵、清水理香、石井りか、松田幸子	自作教材
1-7.	平成24年12月18日 18:00~20:00	2時間	アスト津	9人	ボリビア8人 チリ1人	①終了テスト	①会話テスト、読み書きテスト	1名	西川美帆	6人	農大輔、加瀬公恵、清水理香、萩京子、松田幸子、平田育	自作教材
1-8.	平成24年12月20日 18:00~20:00	2時間	アスト津	12人	ボリビア10人 ペルー1人 チリ1人	①フィードバック ②その他	①テストの間違ひ直し ②修了証授与	1名	土井佳彦	3人	加瀬公恵、清水理香、石井りか	自作教材

【第2期】

- (1) 講座名称 在日外国人(スペイン語圏)のための生活日本語講座2
- (2) 目的・目標 (目的)職場や近隣住民とのコミュニケーションに必要な日本語力等を身に付ける
(目標)職場のルールやマナーを理解する、給与明細を見て理解できる、病院で自分の症状が伝えられる、処方されたとおりに薬が飲める
- (3) 対象者 在日外国人(スペイン語圏)で、ひらがな・カタカナの読み書きできる人(第1期修了者優先)
- (4) 開催時間数(回数) 16 時間 (全 8 回)
- (5) 使用した教材・リソース 標準的カリキュラム案、とよた日本語学習支援システム、他
- (6) 受講者の総数 10 人
(出身・国籍別内訳 ボリビア8人、ペルー1人、チリ1人)
- (7) 受講者の募集方法
チラシ送付(三重県国際交流協会、津市国際交流協会、市内日本語教室等)、メール、団体&個人の facebook ページ、口コミ、第1期教室内でのアナウンス
- (8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
2-1.	平成25年1月8日 18:30~20:30	2時間	アスト津	5人	ボリビア3名 ペルー1名 チリ1名	①オリエンテーション ②レベルチェック	①趣旨説明、自己紹介 ②会話テスト、読み書きテスト	1名	中村春子	4人	加瀬公恵、農大輔、 萩京子、松田幸子	自作教材
2-2.	平成25年1月10日 18:30~20:30	2時間	アスト津	9人	ボリビア7人 ペルー1人 チリ1人	①会話 ②読み書き	①病院(症状の伝え方) ②病院(処方箋の見方)	1名	西川美帆	2人	石井りか、加瀬公恵	自作教材
2-3.	平成25年1月15日 18:30~20:30	2時間	アスト津	10人	ボリビア8人 ペルー1人 チリ1人	①会話 ②読み書き ③その他	①病院(症状の伝え方:復習) ②病院(処方箋の見方:復習) ③感染症(インフルエンザ、ノロウイルス)について	1名	中村春子	3人	加瀬公恵、萩京子、 松田幸子	自作教材
2-4.	平成25年1月17日 18:30~20:30	2時間	アスト津	6人	ボリビア4人 ペルー1人 チリ1人	①読み書き ②その他	①職場(給与明細の見方) ②改正労働基準法	1名	西川美帆	1人	加瀬公恵	自作教材
2-5.	平成25年1月22日 18:30~20:30	2時間	アスト津	6人	ボリビア5人 ペルー1人	①読み書き ②講義	①職場(給与明細の見方:復習) ②確定申告	1名	岸晴苗	4人	加瀬公恵、清水理香、 農大輔、松田幸子	自作教材
2-6.	平成25年1月24日 18:30~20:30	2時間	アスト津	8人	ボリビア7人 チリ1人	①会話	①職場(マナー、ルール)	1名	西川美帆	2人	石井りか、加瀬公恵	自作教材
2-7.	平成25年1月29日 18:30~20:30	2時間	アスト津	9人	ボリビア7人 ペルー1人 チリ1人	①終了テスト	①会話テスト、読み書きテスト	1名	岸晴苗	3人	加瀬公恵、農大輔、 松田幸子	自作教材
2-8.	平成25年1月31日 18:30~20:30	2時間	アスト津	9人	ボリビア7人 ペルー1人 チリ1人	①フィードバック ②講義 ③その他	①テストの間違い直し ②防災 ③修了証授与	1名	西川美帆	1人	加瀬公恵	自作教材

(9) 特徴的な授業風景

平成 24 年 12 月 4 日 18:00~20:00

①会話(入退室の仕方、あいさつ) [18:00~18:45]

面接時の入退室の仕方(ノックの回数、お辞儀の仕方、座るときの姿勢等)と、あいさつ(失礼します、よろしくお願いいたします等)について講師がモデルを示し、全体で練習したうえで個別に指導した。

②読み書き(免許、資格) [18:45～19:30]

履歴書の「免許・資格」欄について、各自がもっている免許・資格を口頭で確認したうえで、書き方(〇〇取得、〇〇合格)を確認し、記入してもらった。

③講義(新しい在留管理制度) [19:30～20:00]

平成 24 年 7 月 9 日に施行された「新しい在留管理制度」について説明をし、その後、質疑応答をした。すべてスペイン語で行った。

* **特徴**: 本講座では、「知識」に関する項目は、原則スペイン語による講義とした(一部、日本語での講義にスペイン語通訳をつけた)。



(10) 目標の達成状況・成果

【第1期】 ※レベルチェックテストは別添教材 p.8～p.11 を参照

18名中、会話9名、読み書き13名がレベルチェックテスト(開始時／終了時の両方)を受けた。その結果、会話7名、読み書き12名が点数UPとなった。(表1参照)

表1. 第1期のテスト結果(開始時→終了時)

No.	会 話 得点(/20 点) 開始時→終了時	増減率	読み書き 得点(/20 点) 開始時→終了時	増減率
1	—	—	9 → 16	177%
2	10 → 20	150%	12 → 18	150%
3	—	—	—	—
4	—	—	—	—
5	11 → 15	136%	8 → 17	213%
6	10 → 15	150%	7 → 18	257%
7	11 → 15	136%	10 → 11	110%
8	—	—	—	—
9	10 → 15	150%	10 → 18	180%
10	7 → 20	286%	13 → 19	146%
11	20 → 20	0%	13 → 18	138%
12	—	—	—	—
13	8 → 8	0%	6 → 14	233%
14	13 → 18	138%	11 → 16	145%
15	—	—	—	—

16	18 → 20	111%	10 → 19	190%
17	—	—	16 → 14	88%
18	—	—	12 → 14	117%

【第2期】 ※レベルチェックテストは別添教材 p.30～p.35 を参照

10名中、会話7名、読み書き10名がレベルチェックテスト(開始時／終了時の両方)を受けた。その結果、会話7名、読み書き10名が点数UPとなった。(表2参照)

表2. 第2期のテスト結果(開始時→終了時)

No.	会 話	増減率	読み書き	増減率
	得点(/20 点) 開始時→終了時		得点(/20 点) 開始時→終了時	
1	15 → 18	120%	6.5 → 12	185%
2	12 → 14	117%	7 → 15	214%
3	18 → 20	111%	10 → 16	160%
4	16 → 18	113%	10 → 17	170%
5	18 → 20	111%	2.5 → 10	400%
6	14 → 16	114%	3 → 9	300%
7	12 → 16	133%	6 → 14	233%
8	—	—	4 → 11	275%
9	—	—	10 → 18	180%
10	—	—	9.5 → 17	179%

(11) 改善点について

○取組み内容(日本語の習得)について

- ・宿題を出すなど、授業時間外での学習を促すような働きかけを積極的にする
- ・授業時間を増やして、扱う項目を増やす

○実施体制について

- ・補助者を増やして、特に読み書きの個別指導を丁寧に行う
- ・履歴書を書くのに必要な漢字の書き順を学べるような教材を作成する
- ・授業の開始時間・時期を検討し、より参加しやすいようにする

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 日本語アシスタント研修

(2) 目的・目標 (目的)生活日本語講座で補助を行う人を養成する

(目標)講座の目的を理解し、講師の指示に従って学習補助ができる

スペイン語で簡単なコミュニケーションがとれる

(3) 対象者 南米の文化やスペイン語、日本語ボランティアに興味のある人

(4) 開催時間数(回数) 24 時間 (全 8 回)

(5) 使用した教材・リソース 適宜、インターネット等で情報収集

(6) 受講者の総数 7 人

(出身・国籍別内訳 日本7人)

(7) 受講者の募集方法

チラシ送付(三重県国際交流協会、津市国際交流協会、市内日本語教室等)、メール、
団体&個人の facebook ページ、口コミ

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成24年10月2日 18:00~21:00	3時間	アスト津	3人	日本(3人)	①講義 ②スペイン語	①南米事情 ②スペイン語はどんな言葉なの?	2名	①山田ロサリオ ②山田真由美	-	-	自作教材
2	平成24年10月9日 18:00~21:00	3時間	アスト津	5人	日本(5人)	①講義 ②スペイン語	①多文化と共生の課題 ②文字と発音	2名	①藤本久司、筒井美幸 ②山田真由美	-	-	自作教材
3	平成24年10月16日 18:00~21:00	3時間	アスト津	6人	日本(6人)	①講義 ②スペイン語	①日本語教育 ②基本フレーズ(あいさつ等)	2名	①土井佳彦 ②ジャスティニアノ・ロナルド	-	-	自作教材
4	平成24年10月23日 18:00~21:00	3時間	アスト津	6人	日本(6人)	①講義 ②スペイン語	①生活習慣・労働慣行 ②教室で役立つ言葉	2名	①筒井美幸 ②ジャスティニアノ・ロナルド	-	-	自作教材
5	平成24年10月30日 18:00~21:00	3時間	アスト津	6人	日本(6人)	①スペイン語 ②講義	①テスト ②まとめ	2名	①ジャスティニアノ・ロナルド ②土井佳彦	-	-	自作教材
6~8	平成24年11月27日 ~25年1月31日	2時間 ×3回	アスト津	取組内容 1参照	-	実習	教室活動への参加	1名	その日の講師	-	-	-

(9) 特徴的な授業風景

平成24年10月9日 18:00~21:00

①多文化と共生の課題

三重県在住外国人の概況(国籍別、年代別、在留資格別等)と、これまでの多文化共生施策、コミュニケーションにおける文化的差異等について、県国際交流財団職員と大学教授に講義をしてもらった。

②スペイン語

ネイティブ講師に、スペイン語の文字の読み方と発音の特徴(例:「J」は「H」読みをする等)について説明してもらった。

* 特徴:本講座では、毎回、最後の1時間にスペイン語学習を入れ、受講者に外国語を学ぶことの難しさを体験してもらった。



(10) 目標の達成状況・成果

終了時にスペイン語のテスト(次ページ参照)を行った(出席者6名中、2名は遅刻のため4名が受験)。その結果、3名が一定の成績を修めた。(表3参照)

表3. スペイン語終了テストの結果

No.	点数(／100点)	No.	点数(／100点)
1	95	3	97
2	99	4	38

(11) 改善点について

○取組み内容について

- ・教室での学習支援方法について、より具体的なスキルを学ぶ時間を増やす
- ・実習後に振り返りの時間をもつ
- ・学習者の背景に直接触れるような機会をもつ(職場見学、家庭訪問等)

○実施体制について

特になし

＜スペイン語 確認テスト＞

1. 次のスペイン語を日本語に訳してください。

①Buenos días.		⑪No se preocupe.	
②Buenas noches.		⑫Por favor.	
③¡Tanto tiempo!		⑬Lapiz	
④¿Que tal?		⑭Libro	
⑤¡Adiós!		⑮Cuaderno	
⑥Hasta mañana.		⑯Goma	
⑦Nos vemos después.		⑰Mesa	
⑧Gracias.		⑱Cantar	
⑨De nada.		⑲Descansar	
⑩Discúlpeme.		⑳Error	

2. 次の日本語をスペイン語に訳してください。

①こんにちは		⑪イス	
②やあ！		⑫ドア	
③ごきげんいかが？		⑬はい	
④さようなら		⑭いいえ	
⑤また来週		⑮書く	
⑥ありがとうございます		⑯聞く	
⑦ごめんなさい		⑰読む	
⑧ボールペン		⑱練習する	
⑨3 ページ		⑲始める	
⑩地図		⑳終わる	

3. 次の日本語をスペイン語に訳してください。

はじめまして。 _____

わたしは〇〇（自分の名前）といいます。 _____

〇〇（地名）に住んでいます。 _____

よろしくお願いします。 _____

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 日本に暮らすスペイン語圏の人のための にほんご初級～仕事と生活～
- (2) 対象 在日外国人(スペイン語圏)、簡単な自己紹介とひらがな・カタカナの読み書きができる人
- (3) 目的・目標 ①就職活動に必要な日本語力(面接、履歴書等)と知識(ルール・マナー等)を身につける
②職場での職位向上に必要な日本語力(同僚とのコミュニケーション)と知識(労働慣行、労働法規等)を身につける
- (4) 構成
はじめに／本書の使い方／ひらがな／カタカナ／講義①「職場でのルール・マナー」

第Ⅰ部 就労

- 1) レベルチェック①会話、②読み書き
- 2) 履歴書①履歴書のフォーマット、②記入例と記入のポイント、③履歴書の言葉、④履歴書の漢字／＊講義②「新しい在留管理制度」ってなあに？
- 3) 面接①質疑応答、②マナー・身だしなみ、③面接評価シート／講義③「社会保険」

第Ⅱ部 職場・生活

- 1) レベルチェック①会話、②読み書き
 - 2) 生活①健康、②感染症／講義④「確定申告」
 - 3) 職場①給与明細、②職場のルール・マナー／講義⑤「ほう・れん・そう」
- 参考文献・ウェブサイト

- (5) 使い方
この教材には、日本語版(指導者用)とスペイン語版(学習者用)の2つがあります。指導者用には、各章のはじめに、使い方の参考となる「説明」をつけました。また、各種チェックシートや練習問題、絵カードなどは、そのままコピーしてお使いいただけるようデザインを工夫しました。必要に応じて、ご自由に加工してください。
- (6) 具体的な活用例
今回のカリキュラムや教材を必要に応じて加筆修正しながら、来年度以降も同様の教室を継続開催する予定である。
- (7) 成果物の添付
別添

8. 事業に対する評価について

- (1) 事業の目的
日本で生活するうえで、必要な知識(生活習慣、各種制度等)および日本語力を身につけるための講座を開催する。とりわけ、本講座では当該地域のニーズから、日本での就労を希望している、または就業中のスペイン語圏外国人のスキルアップのための日本語および労働慣行に関する内容を含めることとする。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

- ・日本語教室の運営については、短い期間であったが目標としていた日本語力を習得してもらうことができたことから、一定の成果を収められたと考える。一方で、仕事や生活に関する知識面においては、客観的な評価が難しく、文化庁においても「日本語能力評価」に加えて「日本社会に関する知識」評価基準・項目の作成を検討いただきたいところである。また、冬季に実施したことから受講者の間で風邪が流行り、病欠を余儀なくされた者が多かったことから、開催時期を再検討したい。

- ・日本語ボランティア研修については、知識面以上に実習を重ねながら具体的なノウハウや考え方を身につけてもらうことを重視した。これについても客観的な評価が難しく、文化庁の「日本語指導力評価」に照らしあわせて、かつボランティアの役割を明確にした上で、細かな評価基準とステップアップのための人材育成ノウハウを積んでいく必要があると感じた。

- ・教材作成については、特に内容面と翻訳言語において、市販の教材にはなく、学習者のニーズに即したものが新たに作成できた。今後はさらに内容を充実させるとともに、学習者からの要望の高かった自習教材の作成にも着手していきたい。

★学習者の一人が、授業で記入した履歴書をもって面接に行ったところ、職を得ることができた。日本に来て20年、初めて製造業への派遣以外の職(保育園臨時職員)であった。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

- ・まず、カリキュラム案の項目から、当団体の外国人スタッフが、当団体が想定する学習者にとって特に重要であると考えるものを選定した。
- ・次に、選定された項目をもとに、日本人講師とともにカリキュラムを作成した。
- ・カリキュラム作成においては、「日本語」の習得なのか、「知識」の習得なのかを判断し、前者の場合は語彙や表現を取り上げ、後者の場合はポイントを取り上げ外部講師に依頼した。
- ・結果として、学習者の満足度は非常に高く(アンケート結果参照)、ニーズに即した授業が実施できたと思う。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

- ・当団体にとって日本語教室を主催することが初めてだったため、本事業では、日本語講師、ボランティア養成講座講師、模擬面接官等をほぼすべて外部講師に依頼した。それにより、当団体だけでは実施不可能だったことを実現できた。また、各専門家とのつながりができ、今後の事業においても協力関係を築くことができた。

(5) 改善点、今後の課題について

- ・学習者のニーズとして、平日夜間の就業後(19:00以降)の教室開催を希望する声が高かった。しかし、学習をサポートする日本人ボランティアにとって、その時間帯に参加することは難

しいようで、需要と供給のミスマッチを感じた。

- ・今回参加できなかった”潜在的学習者”から、「教室に通いたいけど遠くて通えない」、「交通手段がないので通えない」等の声が聞かれた。自宅で学習できる機会の提供についても検討する必要性を感じた。

(6) その他参考資料

◆日本語教室参加者アンケート結果(感想、希望)

【第1期】

- ・より多くの日本人とのよりよいコミュニケーションのために文法と語彙を勉強したいです。新しい仕事を探すために使用する履歴書の書き方を勉強できて非常に有意義だったと思います。
- ・個人的な問題ですが、授業は 19 時に始まるようにお願いしたいです。次回、可能であれば日常生活をテーマに授業をしていただくようお願いします。
- ・開始時間を遅延させることを提案します。日本人と仲良くしていくために、日常生活についてもっと勉強したいです。
- ・私はこの国で勉強している子どもを持っているので、日本の教育システムに関する学校の会合に参加し、私の子どもたちの勉強のためのより多くの機会を見たいです。
- ・私はもう少し正しい漢字の書き方を勉強したいと思います。
- ・将来、就職するための面接と日常生活にもっと役立つ素晴らしい内容でした。
- ・漢字の難しさに苦労しているが、より多くを学び、また日本での仕事上の人間関係について学ぶことが大切だと思います。
- ・日常生活の中で、法的にやってはいけないこと及び、知っておくべきことを勉強したいです。
- ・できればクラスを増やし、すべての授業を同じ講師に担当してほしいと思います。
- ・もう少しひらがなと漢字の時間、もしくは宿題をふやしてほしいです。
- ・日本語が正しく話せるように勉強して、頻繁に使用される漢字を勉強したいです。
- ・日本語でのパソコンの使い方を学びたいです。
- ・基本的な漢字の書き方を教えてほしいです。

【第2期】

- ・漢字をもっと勉強したいです。
- ・今後も続けたいですが、授業時間が短いので、家での宿題を出してほしいです。クラスの中では、発音を勉強したいです。
- ・日常生活における日本人とのより良い関係づくりのために、日本でのマナーを教えてください。
- ・宿題を出してほしいです。
- ・週ごとに、復習をしてほしいです。
- ・1期8回は非常に少ないので、勉強時間をもっと増やしてほしいです。

以上